

港区立南山幼稚園

Minato City, Nanzan Kindergarten

# 5月園だより

令和2年5月13日

May 13, 2020

園長 河合 晴美

Principal

Harumi Kawai



## 新たなステップへ

園長 河合 晴美

青く澄み切った空と新緑に囲まれ、南山幼稚園は、5月を迎えました。

保護者の皆さまには、始業式と入園式が延期になったことへの御理解と電話連絡等に御協力をいただきまして、誠に感謝申し上げます。教職員一同、子どもたちとの出会いを楽しみに過ごしてまいりましたが、再度、臨時休業が延期となり、改めて、新たなステップに向けて準備をしているところです。

保護者の皆さまは、外出自粛の日々は、不安やストレスを感じながら過ごす日々であったかと思えます。また、御家族の健康を維持するために、御苦勞の日々とお察し申し上げます。私たち教職員一同も、とにかく前を向き、力を合わせ乗り切りたいと切に願っております。引き続き御理解、御協力をお願いいたします。

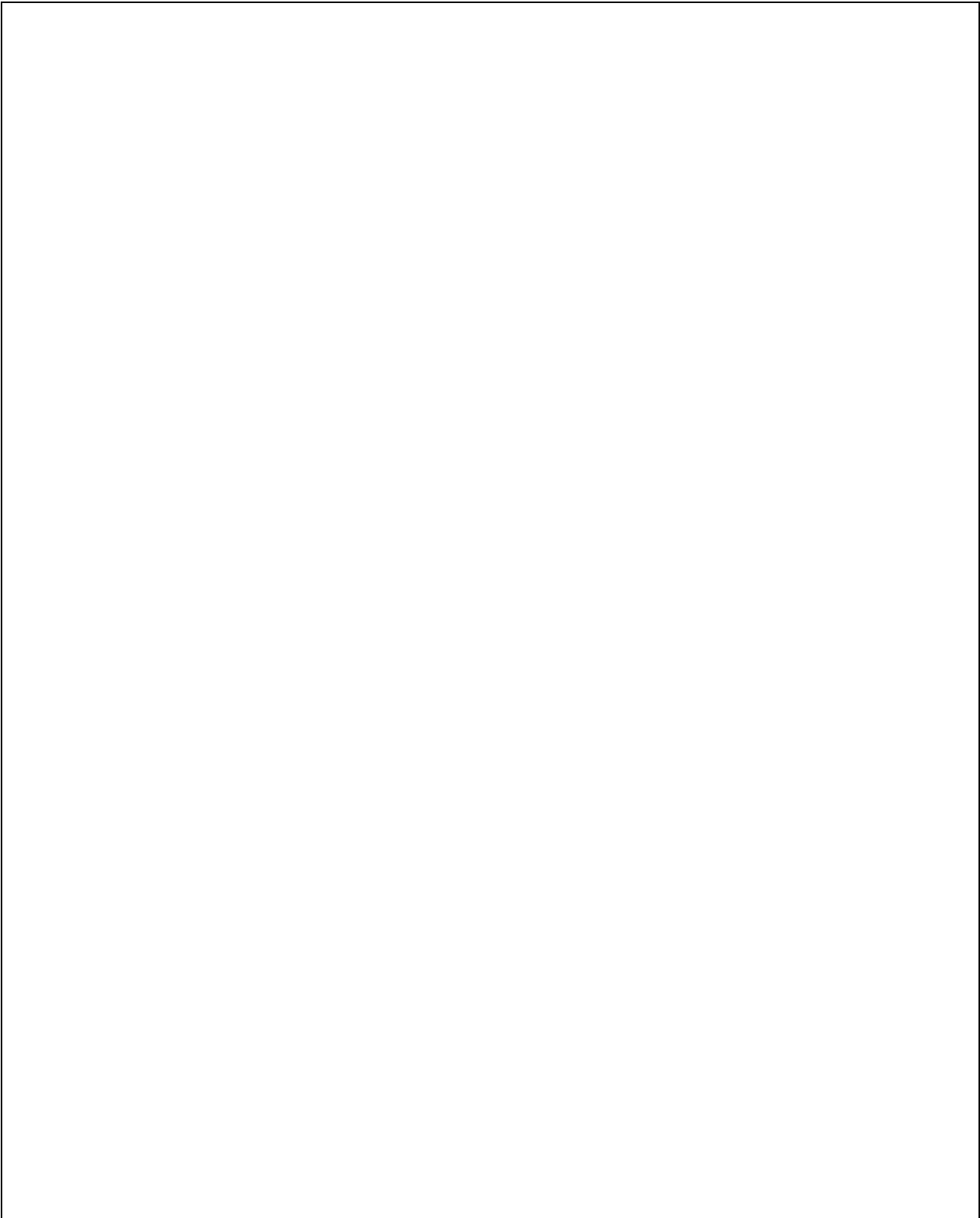
さて、子どもたちのいない幼稚園ですが、自然がゆっくりと時の流れを教えてくださいます。おひさまの光をたくさん浴びて、草花や木の実、野菜等がすくすくと育っています。園庭の自然は、いつでも子どもたちを迎えられるようです。教員も予定を組み替えながら、教材の準備や環境の整備を行っています。「子どもたちがいたら・・・」と、想像しながら豊かな体験となるように、創意工夫をしていくことに力を注いでいます。再開したときには、子どもたちとの楽しい毎日が繰り広げられることを楽しみに、一日一日を大切に過ごしています。また、慣れないながらも動画配信という新しい試みにも挑戦しています。ホームページをご覧ください、感想等を寄せていただければ有難いと思っております。

臨時休業中も、平日は教職員が勤務しております。御心配なことがありましたら、遠慮なく電話等で御連絡をくださいますようお願いいたします。



<エダマメ、キュウリ・・・いろいろな野菜が育ちます>

<アズの実がなりました>



子どもたちが登園新しいメンバーが加わった本園の教員による、園内研究は、「自ら考え かかわりを  
深め 豊かな

学びを創り出す子どもの育成 ～明日につながる保育の環境構成～」が主題となっています。「明日につながる保育」という言葉を合言葉に、今日一日をどのように過ごしたかを振り返り、子どもたちの言葉や動き、表情をとらえることができたか等考えながら、子どもに寄り添い見えてきたものを省察する行為を重要視していきます。そして、その過程で見えたことを明日につなげ、さらに楽しく充実した一日となるように、保育室や園庭の環境、教師の言葉や動き、教材等を検討していきます。

日々の生活の中で見られた成長は、保護者の皆さまと喜びを共有し、時に、幼児にとって乗り越えたい状況があるならば、保護者の皆さまと一緒に乗り越えられるように支えていきたいと思えます。

保育は、子ども理解に始まり、子ども理解に終わると言われています。その子自身を受容し、子どもの今ある「心もち」を大切にしていきたいと思えます。そして、子どもたちが見ている世界を共に見ながら、子どもたちとの「実におもしろくてすばらしい、そして尊い一日」を大切にまいります。